

[illegible]

乘する所となり、今復歸し有る地は君主にあつて人民にあらす我國の建國に立てるが、我外務省即には如何なる心算かあるが、想ふに新政府成立後の國是に反するものなり近衛等外敵勢力は二個に分離すべし、一は西洋主權を以ては斯る場合に際して曰く肉を天義の重傷一振、一は東洋主義の復興一息に拂ひ去るべきと云ふ知らん勢なり、目下の状態に在つて其の勢物を蟹肉決して分つ可からざるに、乃ては食糧不足及びざるものありんことを蟹肉決して分つ可からざるに、さあ短子屋兵助は天にも地にも只た「い」

梁川庄八
小川井蘆洲演

第百七回

小金山
第一百回

倅兵吉が入牢の身となつた

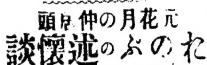
1

事のみを用て、雄子屋の敷敷に容る。色がございませぬ。却つて奈良奉行、立て興福寺からも見附けて、法師石子詰の所に上げると云ふ罷臣、十人至つて嚴重な出立で馬に乗り、爾之を此處に安置くときは、或は十人ばかり警衛して右の兵吉を引渡し、町の者が之を奇貨として布令に背する。



朝鮮總督府醫院

燒印調製
銅真鍮細工
鋅前直
仁川宮町日本公園地邊
内田燒印



景品附京城大賣出
收支決算報告
金六千八百八十九圓六十錢也
第六千八百八十九圓
內
景品券三十四萬六千枚賣場代金
第七千一百四十圓
當座預金利息金
債券額面一千九百六十圓買入差額金
支出之
總收入高

金六千二百五十六圓十一錢也
總支出高
譯
第一等景品三枚分
第二等景品三十八枚分
第三等景品二十八枚分
第四等景品二十九枚分
第五等景品二十五枚分
第六等景品二十一枚分
第七等景品十九枚分
第八等景品十七枚分
第九等景品十五枚分
第十等景品十三枚分
第十一等景品十一枚分
第十二等景品九枚分
第十三等景品七枚分
第十四等景品五枚分
第十五等景品三枚分
第十六等景品二枚分
第十七等景品一枚分
第十八等景品半枚分
第十九等景品四分之一枚分
第二十等景品八分之一枚分
第二十一等景品十六分之一枚分
第二十二等景品三十二分之一枚分
第二十三等景品六十四分之一枚分
第二十四等景品一百二十四分之一枚分
第二十五等景品二百五十六圓十一錢也

等外	一百八十二元	新開廣告料
第一	一百六十九元	印刷費
第二	一百六十元	信印費
第三	一百五十元	筆紙票文員費
第四	一百四十元	事務所費
第五	一百三十元	抽籤當日辦當代
第六	一百二十元	事務所辦當代
第七	一百一十元	景品券兌換中
第八	一百元	事務員手當
第九	九十元	事務員手當
第十	八十元	事務員手當
第十一	七十元	事務員手當
第十二	六十元	事務員手當
第十三	五十元	事務員手當
第十四	四十元	事務員手當
第十五	三十元	事務員手當
第十六	二十元	事務員手當
第十七	十元	事務員手當
第十八	五元	事務員手當
第十九	三元	事務員手當
第二十	二元	事務員手當
第二十一	一元	事務員手當
第二十二	五角	事務員手當
第二十三	二角	事務員手當
第二十四	一角	事務員手當
第二十五	五分	事務員手當
第二十六	二分	事務員手當
第二十七	一分	事務員手當
第二十八	五分	事務員手當
第二十九	二分	事務員手當
第三十	一分	事務員手當

右の通りにも可也
 明治四十五年二月十九日

京加聯合露榮會
 委員長 釘本藤次郎
 胃腸のつらみ
 飲まずに食ひ
 十さき
 おかいさん
 香銅雪散
 にせ物無注意

代理店
京城南大馬道三丁目
電話九〇四番一〇六八
振替口座 京城 十六番

すし 仕出し
御料理
大勉強 栄 亭 事
京城豊井町八四
電話二〇六九番 岩本

養子庄作儀豫才病室
時屬周病院不相叶昨十九日午後五
段緣知諸君於死去致候聞此
追而葬儀卿聖仕候
仕於執行可
二月廿日
父關繁太郎
異城西山十兵衛

木島平兵衛

-155-

恩給

時令位長長期契約即
 大府右衛門始仕
 今般右衛門始仕
 外神戶屋分
 取切取申候

全番承取迅速且
 京城樓并町八四

山
口
屋

新井藥房

飲めば
氣持よくなる
消化と
春けし
JINTAN
シタン
仁丹
必ず懷中せよ
何人も



大坂瓦斯コークス
並に器具一式
仁川新町二丁目
國定教科書
文房具販賣
百崎金港堂
電話五百八番

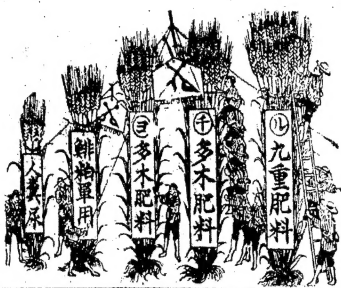
代理店
新井藥房
電話九〇四番一〇六

價五錢●十錢●二十錢●五十錢
大阪堂島棧橋
本舖 高橋盛大堂藥局
全國到る所の藥店に販賣す




小兒かんむしの良薬

多木肥料



英國國製



直輸入新荷着

車體堅牢にして優美

ス井トホーム號

京城本町二丁目

歐米各國
自轉車部


織居商店自轉車部

(電話四人〇番電略)

齋藤齒術所
電話一四一四番

▲可嚙▲迅速▼安價に修理可仕候▼
 銃砲自轉車修繕
 英自轉車中、格安品、澤山取揃有之候間、御一見の上
 御買求の程願上候
 京城市町一丁目 瀧川銃砲自轉車修繕部

▲北里博士指導佐伯氏発見の方式により製出したる本品は卓越廣
汎の用途を有する滋養強壯劑にして特に肺結核後遺性胃腸病及一般
病後衰弱等の營養不給に適應す▲各地藥舖にあり▲説明書附呈す
▲發賣元 東京市本區富町三丁目 三共合資會社
朝鮮總代理店 竹田津三平
仁川本町仁和洋行


 商標
 老人熱おさりマラリヤ熱風病つゝの良劑
キナエシ丸
 二色 五粒 五粒
 十色 十粒 十粒
 十色 廿粒 廿粒
 十色 卅粒 卅粒
 十色 卅粒 卅粒

開業八週年を祝し
二月十五日より
三月十五日まで 卸小賣共 大割引賣
出申候間多少に不拘御用命願上候
外に現金五十錢以上の御買上に對し景品進呈仕候
品商
●櫻正宗、白鶴、澤龜、丸二正宗、いろね、丸重味淋、
丸二味淋、ヒゲ田、龜甲萬、龜甲吉向、角京、の各醬油
●龍山元町三丁目(電話三九番)

丸二正宗 兼古酒店
暖發賣元


清酒値上廣告

内地清酒相場非常に昇騰致候爲め無止本月貳拾日より
左記の道値上付候

一大樽各種壹樽に付 金五十錢也

明治四十五年二月

京城酒商組合



酒は向上の気
愁の眉を
愁ふる人は
二羽鶴を

△六〇六號注射需に應ず
仁川病院
電話十六番

齒科診療

齒科醫 檜崎東陽

京城南山町二丁目(天眞館隣)
(實業館對面)

電話千三百六十番

酒清等優

商標 註冊

金雞

元賣販造釀

港川仁

店酒金吉

(番四六七話電)

M.C.C.

土紙
耳卷
古買

エムジージ

專賣局定價は百本に付金九圓貳拾錢
なるも朝鮮内は大安賣

京城、平壤、龍屋、釜山、大浦、群山、高麗支店

[illegible]

齒科診療
 京城本町二丁目三越呉服店前
 野田齒科醫院
 仁川仲町三丁目永興服店隣
 野田齒科醫院分院

<p>せ く を 養 ひ</p>		<p>店支川仁社合名宅</p>	
所	取	客	荷
仁川	仁川	秋田	合社
本町	本町	商會	秋田
四丁目	四丁目	船	船
山	山	回	回
本	本	清	清
回	回	店	店
清	清	店	店
店	店	店	店

正則宗
元造
酒
味林醇
釀造元
中井酒造場販賣部
並に日用食料品雜貨類
電話百七十七番
電話二七五番
東京城壽町三丁目
卸賣は特別引可仕儀

[illegible]

電話 擔保資金 明治町一丁目
月賦賣渡 電話一八四四

消盡牛乳

牧場直轄

京城永樂町二丁目

京龍牛乳販賣所

電話一七〇番
一九八八番

口入業萬年社

厚物 薄物 鐵板 各種 垣用線
 浪板 平板 各種
 和洋 金物商 彦 佐野彦藏商店
 京 城 本 町 二 丁 目
 電話 六三三
 振替口座 京 城 一〇〇

御客様の安全此の上なし

酒精アルコール

仁川花町一丁目(電話六五〇番)電報ナ、振替口座京城五八二
直輸入元 坂倉友吉 店

弊館には夜警の設備有り
 望陸軍指定旅館
 好鐵道院指定旅館
 川水産組合指定旅館
 旭屋旅館

文文在筆 以獲取抄下時
第壹

京坂本町三丁目

大坂野村徳七代理店
田中友吉商店（電話）